

STEAM 教育におけるコンピテンシーを伸ばす中高一貫の教育

大阪教育大学附属天王寺中学校、同附属高等学校天王寺校舎の教員の日頃の研究成果を所収した附属天王寺中・高「研究収録」第 65 集を発刊させていただき運びとなりました。本校の教育・研究に日頃よりご指導、ご支援を頂いている皆様方に、心よりお礼申し上げます。

大阪教育大学には、池田、平野、天王寺の 3 つの地区に附属学校が計 11 校園があり、昨年度より各地区、各学校園が 3 つのスクールポリシーであるアドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・グラデュエーションポリシーを明確にし、天王寺地区は、小中高と一貫して STEAM 教育を軸としています。皆さんはすでにご存じかとは思いますが、STEAM とは、Science (科学)、Technology (技術)、Engineering (工学・ものづくり)、Art (芸術・リベラルアーツ)、Mathematics (数学) の 5 つの単語の頭文字を組み合わせた教育概念で 5 つの分野の学習を通して、子どもを今後の IT 社会に順応した競争力のある人材に育てていくための教育方針です。本校では中高一貫した 6 年間を見通した STEAM 教育に昨年からは着手しています。

この STEAM 教育は、自分の力で学び、理解し、さらに考える力を育むためのものです。実験や作業といった体験を通じて、深く知りたいという興味や探求心を育むことが第一段階です。今回の本校教育研究会では、COVID-19 の影響がまだ続く昨今の中、3 年ぶりに対面形式で開催し、中高一貫教育でのコンピテンシー（単なる知識や能力だけではなく、技能や態度をも含む様々な課題に対応することができる力）を伸ばす教育について、その可能性と課題を試しました。

今後は STEAM 教育による一貫教育の研究を令和 6 年度まで継続する計画で、最終的には附属天王寺小学校を含めた 12 年間を見通した STEAM 教育のカリキュラムを作成することを目標としています。このように新たに動き始めた教育研究の成果の一端を、この研究収録に収めました。COVID-19 の影響がまだ残り、学校教育に及ぼす影響は依然として不透明なところではありますが、引き続き「附属天王寺型の一貫教育」を発展させるために、教育・研究を積み重ねてまいります。研究のさらなる前進のために、ご批判、ご指導を今後ともよろしくお願い申し上げます。

大阪教育大学附属中学校 校長
大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎 校舎主任
小西 啓之